

#### 4 花・植木

### ①宿根アスター

#### 【栽培暦】

作物名	作型	栽培暦(月)												目標収量 (本/10a)		
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12			
宿根アスター	ハウス促成栽培			◇									◆		◎	25,700
	季咲き露地		◆	○	◎			◇	△	◇	△				x-x	37,500

凡例: ○さし木 △摘心 ◎定植 x-x収穫・出荷 ◆基肥 ◇追肥

#### 【施肥基準】

単位: kg/10a

作型	栽植本数		N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	施肥の留意点
ハウス促成	本/10a 8,900	基肥	15	12	11	・草姿に影響が少ない緩効性肥料を用いる。
		追肥	5	5	5	
		合計	20	17	16	
季咲き露地	6,250	基肥	8	8	8	・追肥は、2~3回に分けて施用する。
		追肥	2	2	2	
		合計	10	10	10	

#### 【土壌・施肥管理】

##### 1 土づくり

ア 良質な堆肥1~2t/10aを施用する。

家畜ふん堆肥を施用する場合は、有効成分等を考慮して施用量を決定する。

##### 2 施肥

ア 基肥は、有機質肥料または緩効性肥料を主体として、定植2週間前までに施用する。

イ 作型に応じて肥料の種類を決定するとともに、定植前の土壌診断により施肥量を決定する。

ウ 吸肥力が強いので、多肥栽培すると主枝が長大になる。

また、側枝が伸びすぎたり主幹が木質化して品質が低下するので施肥量に注意する。

##### 3 その他

ア 窒素過多、高温、水分不足により病害が発生しやすくなるので注意する。

## ②コギク

### 【栽培暦】

作物名	作型	栽培暦(月)												目標収量 (本/10a)					
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12						
コギク (露地)	5～6月 咲き栽培		◇		◇				△ -	△				◆	◎		80,000		
						×	×												
	7月咲き 栽培				◇									◆	◎		35,000～ 45,000		
									×										
	10月咲き 栽培						◆	○	◎	-	△	◇				×	×	35,000～ 45,000	
							育苗												
	11月咲き 栽培					◆		◎	△			◇					×	×	90,000
																	×	×	

凡例: ○さし木 △刈り込み・摘心 ◎定植 ×-×収穫・出荷 ◆基肥 ◇追肥

### 【施肥基準】

単位: kg/10a

作型	栽植本数		N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	施肥の留意点
5～6月 咲き栽培	本/10a 15,000	基肥	16	20	16	・追肥は、2月、4月の2回に分けて施用する。
		追肥	4	0	4	
		合計	20	20	20	
7月咲き 栽培	15,000	基肥	14	20	14	・追肥は生育により1～3回に分けて施用する。
		追肥	6	0	6	
		合計	20	20	20	
10月咲き 栽培	15,000	基肥	14	20	14	・追肥は、1～2回に分けて施用する。
		追肥	6	0	6	
		合計	20	20	20	
11月咲き 栽培	15,000	基肥	14	15	10	・追肥は、1～3回に分けて施用する。
		追肥	7	0	5	
		合計	21	15	15	

### 【土壌・施肥管理】

#### 1 土づくり

ア 良質な堆肥1～2t/10aを施用する。

家畜ふん堆肥を施用する場合は、有効成分等を考慮して施用量を決定する。

#### 2 施肥

ア 基肥は、有機質肥料または緩効性肥料を主体として、定植2週間前までに施用する

イ 作型に応じて肥料の種類を決定するとともに、定植前の土壌診断により施肥量を決定する。

ウ 緩効性肥料を中心に施肥をする。追肥は速効性肥料を使用する。

#### 3 その他

ア 窒素過多、高温、水分不足により病害が発生しやすくなるので注意する。

### ③LAユリ

#### 【栽培暦】

作物名	作型	栽培暦(月)										目標収量 (本/10a)			
		11	12	1	2	3	4	5	6	7	8		9	10	
LAユリ	半促成栽培		◆	◎	—	—	×	—	×						50,000

凡例:○さし木 △摘心 ◎定植(仮植) ×—×収穫・出荷 ◆基肥 ◇追肥

#### 【施肥基準】

単位:kg/10a

作型	栽植本数		N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	施肥の留意点
半促成栽培	球/10a	基肥	9.6	9.6	9.6	
	50,000	合計	9.6	9.6	9.6	

#### 【土壌・施肥管理】

##### 1 土づくり

- ア 家畜ふん堆肥を施用する場合は、有効成分等を考慮して施用量を決定する。
- イ 未熟な堆肥の施用は、生育障害や出芽不良の原因となり、また過剰施用は病害虫の発生にもつながるので避ける。
- ウ 堆肥は計画的に施用し、定植までの期間を十分確保することが望ましい。

##### 2 施肥

- ア 基肥は、有機質肥料または緩効性肥料を主体として、定植2週間前までに施用する。
- イ 品種やほ場の地力に応じた施肥を行うため、土壌診断により施用量を決定する。
- ウ 生育不良の場合は適時追肥を行うが、生育期間が短いため速効性肥料か液肥を用いる。

## ④チューリップ

### 【栽培暦】

作物名	作型	栽培暦(月)												目標収量 (本/10a)	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
チューリップ	促成栽培 (土耕栽培)										◆	◎	—	x-x	90,000

凡例:◎さし木 △摘心 ◎定植 x-x収穫・出荷 ◆基肥 ◇追肥

### 【施肥基準】

単位:kg/10a

作型	栽植本数		N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	施肥の留意点
促成栽培 (土耕栽培)	球/10a	基肥	15	10	10	・球根や生育状況に不良な場合のみ適時追肥する。
	90,000	合計	15	10	10	

### 【土壌・施肥管理】

#### 1 土づくり

- ア 家畜ふん堆肥を施用する場合は、有効成分等を考慮して施用量を決定する。
- イ 未熟な堆肥の施用は、生育障害や出芽不良の原因となり、また過剰施用は病害虫の発生にもつながるので避ける。
- ウ 堆肥は計画的に施用し、定植までの期間を十分確保することが望ましい。

#### 2 施肥

- ア 基肥は、有機質肥料または緩効性肥料を主体として、定植2週間前までに施用する。
- イ 特に球根の質が悪く生育が著しく貧弱な場合は、速効性肥料か液肥を用いて追肥を行う。
- ウ 石灰が欠乏しpHが低下すると根に障害を受け、開花前後に花茎が折れ曲がるので石灰を施用し、pH(H<sub>2</sub>O)を6.5~7.0に保つよう注意する。

## ⑤ストック

### 【栽培暦】

作物名	作型	栽培暦(月)												目標収量 (本/10a)			
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12				
ストック	ハウス栽培							◆		◎	◇	◇				x-x	37,500

凡例: ○さし木 △摘心 ◎定植 ×-×収穫・出荷 ◆基肥 ◇追肥

### 【施肥基準】

単位: kg/10a

作型	栽植本数		N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	施肥の留意点
ハウス栽培	本/10a 45,000	基肥	18	18	18	・追肥は速効性の化成肥料や液肥を用いる。
		追肥	4	4	4	
		合計	22	22	22	

### 【土壌・施肥管理】

#### 1 土づくり

- ア 家畜ふん堆肥を施用する場合は、有効成分等を考慮して施用量を決定する。
- イ 未熟な堆肥の施用は、生育障害の原因となり、また過剰施用は病害虫の発生にもつながるので避ける。
- ウ 堆肥は計画的に施用し、定植までの期間を十分確保することが望ましい。

#### 2 施肥

- ア 基肥は、有機質肥料または緩効性肥料を主体として、定植1か月前までに施用する。
- イ 品種やほ場の地力に応じた施肥を行うため、土壌診断により施用量を決定する。
- ウ 追肥は速効性肥料か液肥を用いる。

## ⑥キンギョソウ

### 【栽培暦】

作物名	作型	栽培暦(月)												目標収量 (本/10a)
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
キンギョソウ	ハウス栽培		◇	◇	◇		◆		◇	◇		◇		80,000
							×	◎◎					×	

凡例:◎さし木 △摘心 ◎定植 ×-×収穫・出荷 ◆基肥 ◇追肥

### 【施肥基準】

単位:kg/10a

作型	栽植本数		N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	施肥の留意点
ハウス栽培	本/10a 30,000	基肥	20	20	20	・追肥は液肥を用いる。
		追肥	6	6	6	
		合計	26	26	26	

### 【土壌・施肥管理】

#### 1 土づくり

- ア 家畜ふん堆肥を施用する場合は、有効成分等を考慮して施用量を決定する。
- イ 未熟な堆肥の施用は、生育障害の原因となり、また過剰施用は病害虫の発生にもつながるので避ける。
- ウ 堆肥は計画的に施用し、定植までの期間を十分確保することが望ましい。

#### 2 施肥

- ア 基肥は、有機質肥料または緩効性肥料を主体として、定植1ヶ月前までに施用する。
- イ 品種やほ場の地力に応じた施肥を行うため、土壌診断により施用量を決定する。
- ウ 追肥は生育に応じて速効性肥料か液肥を用いる。

## ⑦芳香シクラメン

### 【栽培暦】

作物名	作型	栽培暦(月)												目標収量 (本/10a)
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
芳香シクラメン	5号鉢	<div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%;"> <span>← 前期</span> <span>中期</span> <span>後期 →</span> </div>												鉢/100m <sup>2</sup> 625鉢
		◎		◆	◇	◆	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	
		3号鉢			5号鉢									

凡例: ○さし木 △摘心 ◎定植 ×-×収穫・出荷 ◆基肥 ◇追肥 ■鉢上げ

### 【施肥基準】

単位: kg/m<sup>3</sup>

施肥時期		N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	施肥の留意点
鉢上げ	鉢上げ1	0	2.3	0	46重焼燐 } 用土に混和する。 マグアンプ }
		0.1	0.6	0.1	
	鉢上げ2	0	2.3	0	46重焼燐 } 用土に混和する。 マグアンプ }
		0.1	0.6	0.1	
追肥 (置肥)	生育前期	0.2	0.2	0.2	・追肥は1か月ごとに置肥を行う。 例: 前期: 小粒1粒/回 中期・後期: 中粒1粒/回
	生育中期	0.1	0.1	0.1	
	生育後期	0.4	0.4	0.4	
液肥	生育前期	30ppm			・生育状況に応じて液肥を行う。
	生育中期	20~25ppm			
	生育後期	30~50ppm			

### 【土壌・施肥管理】

#### 1 土づくり

- ア 家畜ふん堆肥を施用する場合は、有効成分等を考慮して施用量を決定する。
- イ 未熟な堆肥の施用は、生育障害の原因となり、また過剰施用は病害虫の発生にもつながるので避ける。
- ウ 堆肥は計画的に施用し、定植までの期間を十分確保する。

#### 2 施肥

- 鉢用土の配合割合で元土の成分量が異なるため、施肥量を変える必要がある。
- ア 生育前半は、生育に合わせ窒素の過剰施用に注意する。
- イ 園芸種に比較しリン酸の吸収が多いので、生育前期は特に不足しないように注意する。  
(6月のリン酸不足は側芽数の増加に影響)
- ウ 夏期は肥料の吸収量が少ないので、肥料の過剰施用に注意する。液肥で施用する場合は濃度を低くして施用する。
- エ 秋期は展開してくる葉や花に対応して施肥量を増やす。不足すると、葉色が淡くなるので注意する。  
液肥で施用する場合は、濃度をやや高めにする。

鉢用土配合例: 赤玉38%、赤玉小粒7%、腐葉土15%、ピートモス30%、パーライト10%

## ⑧ハナモモ(枝物)

### 【栽培暦】

作物名	年次	栽培暦(月)												目標収量 (本/10a)	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
ハナモモ	1年目			芽出し肥 ◇									◎ ◇		成木 924本 (切り枝年)
	2年目												◇		
	3年目												◇		
	4年目 (切り枝年)		×	×	(◇)								◇		隔年切り
	5年目				(◇)								◇		

凡例: ○接ぎ木(切接ぎ) △仮植 ◎定植 ×-×収穫・出荷 ◆基肥 ◇追肥

### 【施肥基準】

単位: kg/m<sup>3</sup>

施肥時期		N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	施肥の留意点
施肥	1~2年目	5	4	4	
	3~4年目	8	7	8	
	5~9年目	13	10	13	
	10年目以上	25	20	25	

### 【土壌・施肥管理】

#### 1 土づくり

- ア 良質な堆肥1t/10aを施用し、土壌を改善する。施用する場合は、有効成分等を考慮して施用量を決定する。
- イ 苦土、石灰については、土壌中の成分、酸度を考慮して施用する。

#### 2 施肥

- ア 基肥施用前に、土壌診断を行い、施用量を決定する。
- イ 追肥は緩効性肥料を施用する。
- ウ 吸肥力が強いので定植年は3月に芽出し肥として施用する。
- エ 2年目以降は落葉後(11月中旬頃)から1月下旬までに施用する。成木でこの時期に施用できなかった場合は3月に施用するが、切り枝前年は花芽分化期(7~8月)まで窒素の肥効が残らないようにする。
- オ 施肥位置は幼木では株の占める範囲、成木ではほ場全面に散布し、表土に混和する。

## ⑨ぼけ(枝物)

### 【栽培暦】

作物名	年次	栽培暦(月)												目標収量 (本/10a)
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
ぼけ	苗さし木		◆							○				1,390
	1年目										◎			
	2年目		◆											
	3年目	×	◆											
	4年目	×	◆	×										
	5年目	×	◆	×										
	6年目	×	◆	×										

凡例: ○さし木 △摘心 ◎定植 ×-×収穫・出荷 ◆基肥 ◇追肥

### 【施肥基準】

単位: kg/10a

施肥時期		N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	施肥の留意点
基肥	2年	5.4	2.7	2.7	・追肥は生育状況により調整する。
	3年	5.4	2.7	2.7	
	4年	10.8	5.4	5.4	
	5年	10.8	5.4	5.4	
	6年～	30.0	15.0	15.0	
合計	62.4	31.2	31.2		

### 【土壌・施肥管理】

#### 1 土づくり

- ア 家畜ふん堆肥を施用する場合は、有効成分等を考慮して施用量を決定する。
- イ 未熟な堆肥の施用は、生育障害の原因となり、また過剰施用は病害虫の発生にもつながるので避ける。
- ウ 堆肥は計画的に施用し、定植までの期間を十分確保することが望ましい。

#### 2 施肥

- ア 基肥は、有機質肥料または緩効性肥料を主体に施用する。

## ⑩ベニキリシマツツジ(枝物)

### 【栽培暦】

作物名	年次	栽培暦(月)												目標収量 (本/10a)	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
ベニキリ シマツツジ	養成ほ場														1,500
	1年目		◆			◎									
	2年目		◇			◇									
	3年目		◇			◇									
	4年目		◇			◇									
	5年目														
	仕上げほ場				◆										
5年目				◎			◇			◇	◇				
6年目	×				×										

凡例：◎定植 ×-×収穫・出荷 ◆基肥 ◇追肥

### 【施肥基準】

単位:kg/10a

施肥時期		N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	施肥の留意点
基肥	1年	3	3	3	・整地前に全面施用する
追肥	1年目追肥	2	2	2	
追肥	2年	5	5	5	2月に60%、5月に40%
	3年	5	5	5	
	4年	10	10	10	
追肥	5年目6月	11	11	11	
	5年目9月	6	6	6	
	5年目10月	6	6	6	
合計		48	48	48	

### 【土壌・施肥管理】

#### 1 土づくり

- ア 家畜ふん堆肥を施用する場合は、有効成分等を考慮して施用量を決定する。
- イ 未熟な堆肥の施用は、生育障害の原因となり、また過剰施用は病害虫の発生にもつながるので避ける。
- ウ 堆肥は計画的に施用し、定植までの期間を十分確保することが望ましい。

#### 2 施肥

- ア 基肥は、有機質肥料または緩効性肥料を主体として施用する。
- イ 追肥は、生育状況に応じて施用する。

## ⑪シノブヒバ(枝物)

### 【栽培暦】

作物名	年次	栽培暦(月)												目標収量 (本/10a)	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
シノブヒバ	1年目			○	—	○			◇			◇			16,000
	2年目														
	3年目			◆											
	4年目			◎	—	◎									
	5年目												x	—	

凡例:○さし木 ◎定植 ×—×収穫・出荷 ◆基肥 ◇追肥

### 【施肥基準】

単位:kg/10a

施肥時期		N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	施肥の留意点
基肥		13.2	13.2	13.2	・3年目定植時に全面施用
追肥	1年目 6月	2.4	2.4	1.5	
	1年目 9月	4.8	4.8	3.0	
	2年目 9月	4.8	4.8	3.0	
合計		25.2	25.2	20.7	3年分合計の数値

### 【土壌・施肥管理】

#### 1 土づくり

- ア 家畜ふん堆肥を施用する場合は、有効成分等を考慮して施用量を決定する。
- イ 未熟な堆肥の施用は、生育障害の原因となり、また過剰施用は病害虫の発生にもつながるので避ける。
- ウ 堆肥は計画的に施用し、定植までの期間を十分確保することが望ましい。

#### 2 施肥

- ア 基肥は、有機質肥料または緩効性肥料を主体として、定植2週間前までに施用する。
- イ 1年目の追肥は発根したらなるべく早く施用する。

## ⑫うめ(植木)

### 【栽培暦】

作物名	年次	栽培暦(月)												目標収量 (本/10a)
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
うめ (植木)	1年目		接木	○	◇							△	△	2,469
	2年目		◎		◇								◆	
	3年目												◆	
	4年目										×		×	

凡例: ○さし木 △仮植 ◎定植 ×-×収穫・出荷 ◆基肥 ◇追肥

### 【施肥基準】

単位: kg/10a

施肥時期	N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	施肥の留意点	
基肥	2~3年目	10	8	8	2~3年目 ・追肥は生育に応じて施用する。
追肥	2~3年目	(5)	(5)	(5)	
合計		20	16	16	

### 【土壌・施肥管理】

#### 1 土づくり

- ア 家畜ふん堆肥を施用する場合は、有効成分等を考慮して施用量を決定する。
- イ 未熟な堆肥の施用は、生育障害の原因となり、また過剰施用は病害虫の発生にもつながるので避ける。
- ウ 堆肥は計画的に施用し、定植までの期間を十分確保することが望ましい。

#### 2 施肥

- ア 基肥は、有機質肥料または緩効性肥料を主体に施用する。
- イ 植え付け後2週間は施肥をしない。

### ⑬うめ(鉢物)

#### 【栽培暦】

作物名	年次	栽培暦(月)												目標収量 (鉢/10a)
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
うめ (鉢物)	1年目			○	◇									16,000
	2年目				◇	◎								
	3年目				◇									
	4年目				◇									
	5年目				◇									
	6年目			◇	◇	◇	◇				×		×	

凡例: ○さし木 ◎定植 ×-×収穫・出荷 ◆基肥 ◇追肥

#### 【施肥基準】

単位: kg/10a

施肥時期		N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	施肥の留意点
基肥		0	0	0	4月下旬  ・追肥は、6号鉢に1つまみの油かすを与える。 6年分合計の数値
追肥	1年目	6	7.2	6	
	2年目	7.2	7.2	7.2	
	3年目	13.3	13	11	
	4年目	22	22	22	
	5年目	1.8	2.4	1.8	
	6年目	—	—	—	
合計		50.3	51.8	48.0	

#### 【土壌・施肥管理】

##### 1 土づくり

- ア 家畜ふん堆肥を施用する場合は、有効成分等を考慮して施用量を決定する。
- イ 未熟な堆肥の施用は、生育障害の原因となり、また過剰施用は病害虫の発生にもつながるので避ける。

##### 2 施肥

- ア 植え付け後1週間は施肥を控える。
- イ 鉢上げ後は3~6月の間に6号鉢に1つまみの油かすを月1回を施用する。

## ⑭つばき(植木)

### 【栽培暦】

作物名	年次	栽培暦(月)												目標収量 (本/10a)
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
つばき	1年目			◆			◇	○						16,666
	2年目			◎			◇							
	3年目			◆			◇							
	4年目			◆			◇							
	5~7年目			◆			◇				×		4,166	
	8年目						×							

凡例: ○さし木 △仮植 ◎定植 ×-×収穫・出荷 ◆基肥 ◇追肥

### 【施肥基準】

単位: kg/10a

施肥時期	N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	施肥の留意点
基肥 2~4年目	10	9	9	・有機質肥料や緩効性肥料により施用する。
追肥 2~4年目	5	4	4	
合計	45	39	39	

### 【土壌・施肥管理】

#### 1 土づくり

- ア 家畜ふん堆肥を施用する場合は、有効成分等を考慮して施用量を決定する。
- イ 未熟な堆肥の施用は、生育障害の原因となり、また過剰施用は病害虫の発生にもつながるので避ける。
- ウ 堆肥は計画的に施用し、定植までの期間を十分確保することが望ましい。

#### 2 施肥

- ア 基肥は、有機質肥料または緩効性肥料を主体に施用する。

## ⑮ドウダンツツジ(植木)

### 【栽培暦】

作物名	年次	栽培暦(月)												目標収量 (本/10a)
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
ドウダンツツジ	3年目			◆ ◎							◇			10,000
	4年目			◆							◇			
	5年目			◆							◇			
	6年目			◆										5,000
											×		×	

凡例: ○さし木 △仮植 ◎定植 ×-×収穫・出荷 ◆基肥 ◇追肥

### 【施肥基準】

単位: kg/10a

施肥時期		N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	施肥の留意点
基肥	3年目	7.2	7.2	7.2	
	5年目	10	8	8	
追肥	5~6年目	(6)	(5)	(5)	
合計		17.2	15.2	15.2	

### 【土壌・施肥管理】

#### 1 土づくり

- ア 家畜ふん堆肥を施用する場合は、有効成分等を考慮して施用量を決定する。
- イ 未熟な堆肥の施用は、生育障害の原因となり、また過剰施用は病害虫の発生にもつながるので避ける。
- ウ 堆肥は計画的に施用し、定植までの期間を十分確保することが望ましい。

#### 2 施肥

- ア 基肥は、有機質肥料または緩効性肥料を主体に施用する。

## ⑩もみじ(植木)

### 【栽培暦】

作物名	年次	栽培暦(月)												目標収量 (本/10a)	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
もみじ	露地		○	◆				◇						△	3,000
	2年目			◎				◇							
	3年目			◆				◇							
	4年目			◆				◇							
	5年目			◆				◇							
	6年目			◆				◇			×		×		

凡例: ○接ぎ木(切接ぎ) == 無加温室管理 △仮植 ◎定植 ×-×収穫・出荷 ◆基肥 ◇追肥

### 【施肥基準】

単位: kg/10a

施肥時期		N	P <sub>2</sub> O <sub>5</sub>	K <sub>2</sub> O	施肥の留意点
基肥	2年目	10	8	8	
	5年目	12	12	12	
追肥	5年目	6	4	4	
	6年目	5	5	5	
合計		33	29	29	

### 【土壌・施肥管理】

#### 1 土づくり

- ア 家畜ふん堆肥を施用する場合は、有効成分等を考慮して施用量を決定する。
- イ 未熟な堆肥の施用は、生育障害の原因となり、また過剰施用は病害虫の発生にもつながるので避ける。
- ウ 堆肥は計画的に施用し、定植までの期間を十分確保することが望ましい。

#### 2 施肥

- ア 基肥は、有機質肥料または緩効性肥料を主体に施用する。
- イ 植え付け後2週間は施肥を控える。